



# MOMO OKUDA / 奥田もも

## 2019 RACE REPORT - 全日本カート選手権 FS-125部門 西地域第1戦 -

2019 SERIES

Rd.1 3/31 Biwako Rd.2 4/28 Suzuka Rd.3 5/26 Nakayama Rd.4 7/28 Kobe Rd.5 9/15 Nakayama 統一戦 11/17 Motegi

## 全日本カート選手権 西地域 第1戦 琵琶湖スポーツランド 2019年3月30日-31日

参加台数：16台 / 路面コンディション：タイムトライアル・予選ヒート→ドライ、決勝ヒート→ウエット

### タイムトライアル 4位

気温が低かったため、7分間でタイムを出すために最初の3分間はタイヤを温めることに集中し、その後は単独でタイムアタックをしました。7分間のラストラップにベストタイムを出すつもりでアタックし、最後の周までタイムを更新していきましたが、予想以上にタイヤの温まりが遅く、自分のイメージする良い手ごたえを感じる前に7分間が終わってしまい4位でした。

### 予選ヒート 10位

タイムトライアルが4位でアウト側スタートだったため、ローリングでは2位の選手から離れないように、また路面のタイヤカスを出来るだけ拾わないように意識しスタートをしました。しかし、スタート直後の1コーナーで少し後ろのイン側にいたカートと私のリアタイヤが接触してしまい、弾き飛ばされる形でスピン、コースアウトしてしまいました。運良くコース復帰することが出来ましたが最下位まで落ちてしまい、前の選手とはかなり離れていましたが落ち着いてミスなく走ることに集中しました。周回を重ねるごとに前を走るカートに追いついて行き、1台ずつ確実に抜いていくことに集中しました。最終ラップには9位まで上がりましたが、3コーナーの立ち上がりで前のカートが失速し、アウト側に避けたところを4コーナーで1台に抜かれてしまい10位でゴールしました。

### 決勝ヒート 7位

予選終了後から決勝までの間、雨が降って路面が濡れては雨が止んで路面が乾き、また雨が降っては乾くという天気でした。決勝直前では路面はほぼ乾いていましたが、ゲートクローズ前に再び雨が降り出し、ハーフウエットを想定してユーズドのレインタイヤでグリッドに並びました。スタート直後にいくつかポジションを上げましたが、ペースを上げることが出来ず、後ろを走っていた選手に抜かれてしまい、離されずに付いていくだけで必死でした。しかし、レース終盤になると少しずつ路面が乾き始めたため周囲に比べて自分のペースが上がって行き、前を走る選手を追い抜いて7位でゴールしました。

### 反省点・次戦に向けて

予選ではタイムトライアルが4位だったため少しでも前でゴールしたいという気持ちが強く、それが少し焦りに繋がってしまい、苦しい流れを作ってしまったと思います。スタート直後はタイヤが冷えており、1コーナーでイン側の選手がアウト側へ膨らんでしまうことは想像できたはずですが、完全には抜き切っていないにも関わらずアウト側からタイト気味に進入してしまい結果的にイン側のリアから追突されてしまいました。練習走行からペースはかなり良かったので無駄なリスクを取らず、イン側グリッドの選手が多少膨れてしまっても回避できるようなラインを通るべきでした。私の一瞬の判断ミスで大きく結果が変わってしまうことを改めて痛感しました。今回の反省を生かして、次戦からは落ち着いた気持ちでレースに取り組み、どのような状況でも自分の出来ることに集中し、良い結果につなげたいと思います。

